

令和5年度 上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和5年度上半期について、輸出額は「自動車」などが増加したことから、対前年同月比10.1%の増加となった。また、輸入額は「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「アルミニウム及び同合金」などが減少したことから、同5.4%の減少となった。
その結果、差引額は4兆1,163億円（同28.0%の増加）となった。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による
また、★印は名古屋港において全ての期を通じて過去最高を示す（1979年度上半期以降のデータを基礎として比較）

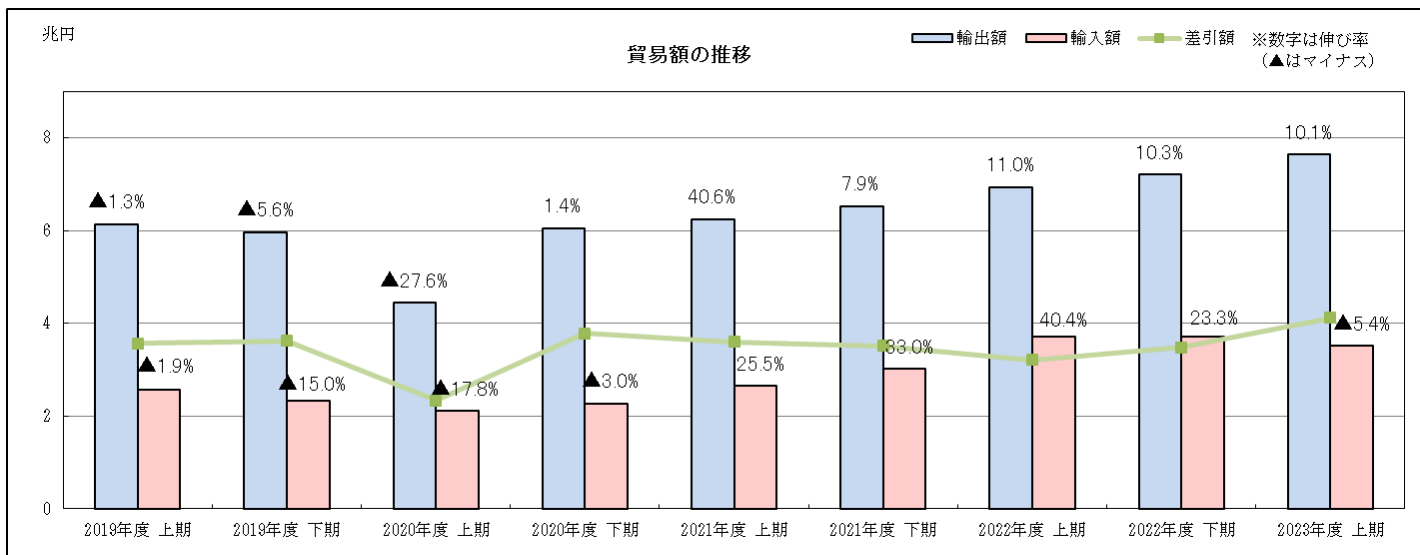
○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	★ 7兆6,342億円	+10.1%	3兆5,179億円	▲5.4%	★ 4兆1,163億円	+28.0%
	6期連続の増加		5期ぶりの減少		4期ぶりの増加	
管内（名港シェア）	12兆0,351億円	(63.4%)	6兆6,388億円	(53.0%)	5兆3,963億円	(—)
全国（名港シェア）	50兆2,418億円	(15.2%)	52兆9,602億円	(6.6%)	▲2兆7,184億円	(—)

注）名古屋港における輸出額は、令和2年度下半期以来に全国港別（空港を含む）第1位
注）名古屋港における差引額は、平成10年度上半期以降（51期連続）連続 全国港別（空港を含む）第1位

○主な増減品目

	概況	品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	増加	(1) 自動車	★ 2兆2,887億円	+39.1%	+9.3	3期連続の増加
輸入	増加	(1) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	★ 2,130億円	+28.1%	+1.3	6期連続の増加
	減少	(1) 液化天然ガス	2,085億円	▲42.6%	▲4.2	5期ぶりの減少
	減少	(2) アルミニウム及び同合金	1,635億円	▲20.2%	▲1.1	2期連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（岐枚阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。